

平成29年6月議会 市長提案説明

議員の皆様方には、ご多忙のところ、6月定例会に御参集いただきまして、ありがとうございます。

さて、厚生労働省が6月2日に発表した「人口動態統計」によると、平成28年に生まれた子どもの数は97万6979人で、明治32年に統計をとり始めてから初めて100万人を割り込んだと公表されました。また、上向く兆しのあった出生率も伸び悩み、合計特殊出生率は、平成27年より0.01ポイント低下し、1.44となり、2年ぶりに低下しています。出産適齢期の女性の減少や婚姻件数の減少及び晩婚化が少子化に拍車をかけています。

本市におきましても、人口減少や少子高齢化が確実に進行しており、本市が将来にわたって活力あるまちであるためには、地域資源を活用しながら、産業の活力の維持・拡大や安全なまちを支える基盤整備などにより、地域の力を強化していくことが重要でございます。

こうした中、本市では、将来目指すべき都市像を定めた新たな「尾道市総合計画」を本年3月に策定し、「元気あふれ 人がつながり 安心して暮らせる～誇れるまち「尾道」～」の実現に向けて諸施策に取り組むことといたしました。

特に、子育て環境の整備については従前から重要と考え取り組んでまいりましたが、子育て世代の支援をさらに充実するため、本年度は、妊娠期・出産期から子育て期を切れ目なく支援するためのワンストップ拠点サービスである「尾道子育て応援スタイル」をさらに拡充し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりに取り組んでおります。

今後、本市では、平成30年度に市制施行120周年と今治市との姉妹都市交流50周年を、また、平成31年度には、尾道港開港850年の節目の年を迎えます。さらに、東京オリンピック・パラリンピックが開催される平成32年度は、平成の大合併から進めてまいりました新市建設計画の最終年度ともなり、本市のまちづくりを支える基盤づくりが完成することとなります。

これからも尾道だからこそできる、独創的なまちづくりを展開することで、市民の皆様が誇れる、さらには多くの人々から選ばれるまちの実現を目指してまいります。

それでは、御提案いたしております諸案件につきまして、総合的な説明を申し上げます。

まず、一般会計の補正予算案でございますが、放課後児童クラブを2箇所増設するための経費、社会資本整備総合交付金の交付内示を受けて千光寺公園内の緑化や夜間景観整備、道路の美装化を行う都市再生整備計画事業費、長江小学校の改修事業費や昨年の大雨災害に関連する公共土木施設過年単独災害復旧費などをお願いしております。

また、4月1日付の人事異動に伴う人件費等の調整をいたしております。

次に、特別会計の補正でございますが、国民健康保険事業特別会計では、前期高齢者納付金の増額を、介護保険事業特別会計保険事業勘定では、制度改正に伴う介護予防ケアマネジメント事業費の組替え及び追加を、それぞれお願いしております。

あわせて、一般会計と同様に、人事異動に伴う人件費等の増減調整などお願いしております。

その他、尾道消防署向島分署庁舎建設工事にかかわる工事請負契約の締結についてや、消防ポンプ自動車等の財産の取得について、などの議案を提出しております。

詳細につきましてはそれぞれの担当者から説明をさせますので、よろしく御審議の上、御議決を賜りますようお願い申し上げます。

以上をもちまして市長の提案説明とします。

※本文は、口述筆記ではありませんので、表現などについて、実際の説明と若干異なることがあります。